

## 平成 28 年度避難者アンケート調査の結果について【概要】

### 1 調査対象等

- (1) 東日本大震災により山形県内に避難されている 1,083 世帯
- (2) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間：平成 28 年 8 月下旬～9 月中旬
- (4) 集 計 数：342 件 (H27：445 件)
- (5) 回 収 率：31.6% (H27：34.5%)

### 2 調査結果のポイント

- (1) 家族状況は、「母子のみ避難」が前年の約 3 割から約 2.5 割となり、割合は年々低下
- (2) 山形での生活について、困っていること・不安なことは、「生活資金」が最多。
  - ・困っていること・不安なことは、①「生活資金 (64.6%)」、②「住まい (52.6%)」の順。対前年比では、「生活資金」が-1.7 ポイント、「住まい」が+2.7 ポイント。
  - ・生活資金の収入源については、①「避難者の給料や賃金 (58.5%)」、②「貯金 (35.4%)」、③「避難元の家族の給料や仕送り (26.6%)」、④「年金 (23.4%)」の順。
- (3) 今後の生活の予定については、「もうしばらく山形県で生活したい」が約 4 割で最多、「山形県に定住したい」が約 3 割で、合計、約 7 割の方が山形県に留まりたい意向
  - ・今後の予定については、①「もうしばらく山形県で生活したい (41.8%)」、②「山形県に定住したい (27.2%)」、③「避難元の県に戻って生活したい (13.5%)」、④「どこで生活するか未定 (13.7%)」の順。
  - ・避難期間の見通しは、「子供の入学、入園や卒業、卒園まで (25.4%)」が最多。
  - ・避難元の県へ帰還する場合に心配なことは、①「放射線の影響のこと (53.8%)」、②「生活資金のこと (41.5%)」、③「仕事のこと (39.8%)」の順。
- (4) 住民票の異動については、「全員が移した」が約 4 割、「一部移した」が 1 割弱
  - ・住民票を移した理由は、①「入園・入学や就職をきっかけに (49.1%)」、②「定住を決めたため (18.0%)」、③「住宅、自動車等の財産取得をきっかけに (6.0%)」の順。
  - ・住民票を移していない理由は、①「いずれ避難元の県に戻って生活するため (26.5%)」、②「生活上支障がないから (23.5%)」の順。
- (5) 8 割弱の避難者が心身に何らかの不調
  - ・心身の不調が「特にない」方は 24.0%で、8 割弱の方は心身に何らかの不調を抱えている。
  - ・①「疲れやすく体がだるい (37.7%)」が最多で、以下、②「イライラする (33.0%)」、③「よく眠れない (26.0%)」④「孤独を感じる (24.3%)」と心の不調に関する項目が続く。
- (6) 県、市町村、ボランティア団体等による避難者支援は、約 9 割が評価
  - ・今後、県内で期待する支援は、「住宅に関すること (52.3%)」が最多。